

平成 30 年度 第 5 回長和町公共交通審議会会議録

日 時：平成 31 年 3 月 20 日（水）午後 6 時 28 分～

場 所：長和町役場 第 5 会議室

1 開 会（小林総務課長）

2 会長あいさつ（宮沢会長）

「昨年の 3 月から 6 回の会議を重ね来週 25 日に町長に答申することとなった。

委員皆様方からのご発言やご提案により、審議結果を答申することができる運びとなったことを感謝いたします。」

3 協議事項

（1）町への答申について（事務局説明）

- ・答申内容の確認「JRバス再編が長和町に適した新たな公共交通体制である。」

（添付資料：審議の経過、JRバス再編とデマンド交通導入の比較、JRバス再編に伴う精査事項）

↓

了承

（2）JRバス再編での内容精査事項について（事務局説明）

- ・内容の精査や調整が必要な事項を答申に併せて提出する。

委員 JRの力を活用できるメリットもある。上田から帰るバスに観光客を乗せてくるなど、町に人が来てもらうこともできる。観光プランを作るなどJRと一緒に取り組むこともできる。

委員 通学バスが高校付近まで行くことは可能か。

事務局 町の契約バスとなるため、目的地や途中停車地を自由に設定できる。

委員 国道でも途中停車できるのか。

事務局 交通安全上問題なければ、設定できると思う。

委員 いろいろな高校を回ることもできるのか。

事務局 回ることもできるが、渋滞など時間を要する懸念がある。

委員 高校を回るようなら、（東御・小諸の高校など）不公平感の無いようお願いする。

委員 上田からの帰りにお客を乗せることはできるか。

事務局 乗せることはできると思うが、帰りの運行費用も必要になるかもしれない。

委員 上田医療センターも検討できないか。

事務局 高校通学に併せた朝夕の運行であるため、利用しにくいかもしれない。

副町長 審議会で決定いただいた方向性の答申を受けた。今後の進め方として、関係者を入れた大きな検討委員会との組織にするか、町が関係機関との個別に調整を行い、内容を集約して、審議会に諮る方法が考えられる。

委員 町において分野分野で精査して、ある程度まとまったところで、審議会を開催するのが良いと思う。大きな組織になると話もまとまらなくなる。

会長 町で精査調整のうえ、審議会に諮る事項が生じたら、会を開催することとしたい。他に精査事項があれば願います。

委員 長和町を宣伝できるラッピングバス

委員 黒耀石の観光としては、鷹山から男女倉の運行

委員 高齢者の運転免許返納者への対応

事務局 要望については、利用者数や経費との兼ね合いもあることをご承知いただいたうえで、検討したい。

会長 役場で各機関と調整して、審議が必要な場合は現メンバーで公共交通審議会を開催することとする。あと1年間よろしく願いたい。

副町長 6回の会議により慎重審議いただき、「いつでも、どこでも、どこまでも」の町長公約をJRバス再編により、新公共交通体制を構築するみちしるべを答申いただきありがとうございました。これをもちまして、町において検討を行い方向性が出たところで住民皆さんにお知らせをしながら新体制を創っていきたい。引き続きご判断等をお願いするときは、よろしく願いたい。答申まで至ることができたことを厚くお礼申し上げます。

(3) その他（事務局説明）

- ・第4回会議録（広報4月号、町ホームページに掲載した。）
- ・町長への答申 3月25日（月） 宮沢会長

4 閉 会

（終了 19 : 08）